

【問い合わせ先】

島根県病害虫防除所 [担当：塚本]

TEL：0853-22-6908

FAX：0853-24-3342

平成22年度 病害虫発生予察情報 注意報第1号

平成22年4月5日
島根県

タマネギべと病の越年罹病株が県内各地で認められ、発病株率の極めて高い圃場も確認されています。今後気温の上昇に伴い、越年罹病株上には多数の胞子が形成され、病勢の急速な進展が懸念されますので、注意報を発表します。
現地では発生状況を把握し、発病株の抜き取り等、防除対策の徹底をお願いします。

記

1. 作物名 タマネギ
2. 病害虫名 べと病
3. 発生地域 県内全域
4. 予想発生量 多い



5. 注意報発表の根拠
 - 1) 3月下旬の巡回調査では、越年罹病株の発生圃場率が73.3% (平年14.3%) と平年を上回っており、1万株当たりの発病株数は18.9株 (平年2.0株) と過去10年間で最も多い。
 - 2) 越年罹病株には今後胞子が多量に形成され、これが伝染源となり、急激な二次感染が起こることが予想される。
 - 3) 今後の気象は本病の発生を特に抑制する要因とはならない。
6. 防除対策および防除上の注意事項
 - 1) 一般的に、越年罹病株が1万株当たり1株 (10a当たり3株程度) 以上あるとまん延に十分な量の胞子が形成され、二次感染が活発化し、鱗茎肥大期には多発生になるとされる。
 - 2) 逆に、越年罹病株の早期除去によりまん延の防止が可能となるので、抜き取りを徹底する。
 - 3) 越年罹病株に胞子の形成が認められた場合には、感染拡大防止のため、直ちに薬剤による防除を行う。
7. 薬剤防除
 - 1) 種類および濃度

(薬 剤 名)	(使用基準)
* リドミルM水和剤 500～750倍	収穫 7日前まで / 3回以内
* リドミル銅水和剤 400～600倍	収穫 7日前まで / 3回以内
* フォリオブラボ顆粒水和剤 1,000倍	収穫 7日前まで / 3回以内
フェスティバルM水和剤 750～1000倍	収穫 7日前まで / 3回以内
フェスティバルC水和剤 600～800倍	収穫 7日前まで / 3回以内
ランマンフロアブル 2,000倍	収穫 7日前まで / 4回以内
アミスター20フロアブル 2,000倍	収穫 前日まで / 4回以内
ホライズンドライフロアブル 2,500培	収穫 3日前まで / 3回以内
カーゼートPZ水和剤 1,000倍	収穫 3日前まで / 3回以内
ベトファイター顆粒水和剤 2,000倍	収穫 7日前まで / 3回以内
プロポーズ顆粒水和剤 1,000倍	収穫 7日前まで / 3回以内
ダコニール1000 1,000倍	収穫 7日前まで / 6回以内
** マンゼブ水和剤 400～600倍	収穫 3日前まで / 5回以内
フロンサイド水和剤 1,000～2,000倍	収穫 7日前まで / 5回以内
ヨネポン水和剤 500倍	収穫 7日前まで / 5回以内
ビスダイセン水和剤 400～600倍	収穫 21日前まで / 3回以内

注) *印の薬剤はフェニルアマイド系薬剤である。耐性菌を出現させないために、これら薬剤の連用および輪用を避ける。
**印の薬剤名は一般名であり、該当薬剤は複数あることから、使用に当たっては登録内容をよく確認する必要がある。

なお、薬剤の使用に当たっては、農薬の使用基準ならびに本県農作物病害虫雑草防除指針の注意事項を遵守する。

(参考)

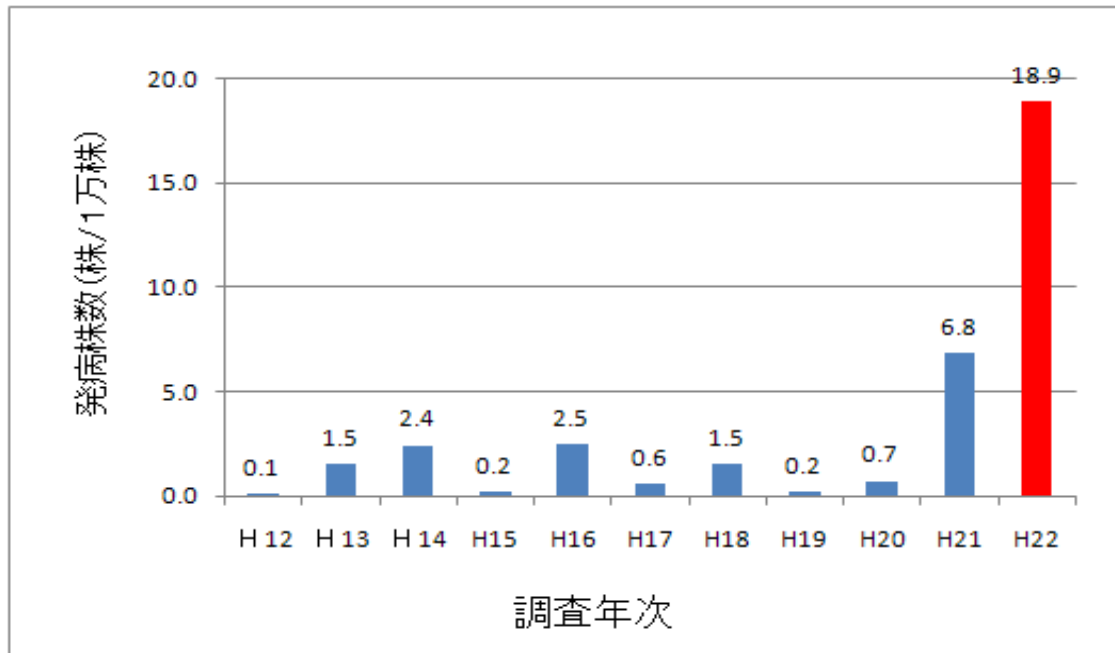


図 過去10か年のタマネギべと病越冬罹病株の発生状況